



6月定例会は、6月3日から6月21日までの19日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、4億2621万1千円を追加する一般会計補正予算など議案10件で、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、今定例会において、意見書案2件を提案しました。いずれも原案どおり可決しました。一般質問は10人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

る団体を支援

こども食堂事業費補助金概要

補助対象となる団体	補助対象事業費	補助金額上限
原則5人以上の団体 支援者の協力があること 食品衛生管理者設置必要	開設費・運営費	1団体につき 45万円

条例制定・改正

八女市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

【提案理由】

消費者安全法の一部改正に伴い、消費生活センターの組織及び運営等に関する事項について条例に定めるもの。

【問】 法改正の目的は。

【答】 高齢者等の消費者被害防止のための地域連携などが狙いである。

【問】 勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

八女市勤労青少年ホームには、従前より八女市適応指導教室あしたばと教育相談室が設置されているが、2階の和室の一部を使用しての教育相談室が、和室全体を使用する必要が生じたため和室を廃止するもの。また、八女市教育サポートセンター構想により、八

女市教育研究所が上陽支所から当ホームへ移転することになり、1階の調理室を廃止するもの。

【問】 勤労青少年ホームは今後どうしていくか。

【答】 現在活用されている団体の利便性を損なわないよう、しっかり維持管理していく。

【問】 八女市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い改正をするもの。

反対討論要旨

国保の保険料率の賦課限度額の引上げは、今後も続くようだが、各保険者の実態を考慮せず一律に限度額を引き上げることは、もはや限界に達している。命と健康を守る役割がある国保であるが、逆に市民を苦しめる事態もある。

子育て支援事業に期待

こども食堂事業費補助金について

- 問** 現在の開設状況は。
- 答** 実施団体1団体、開設予定1団体である。
- 問** 八女市における子ども食堂の配置は。
- 答** ひとり親世帯の多い旧八女に3団体程度、黒木・立花地区に1団体程度を見込んでいる。
- 問** 現在開設している団体は料金をとっているか。
- 答** 料金はとっていない。小中、高校以上、大人と段階的に金額を設定している。
- 問** こども食堂事業費の対象者は。
- 答** こどもは17歳以下とする。未就学児等を含めた親等すべて対象とする。
- 問** こども食堂の看板設置費用は開設費となるか。
- 答** 含まれていない。
- 問** 補助対象を原則5人以上の団体としたわけは。
- 答** 複数人で安定的にこども食堂を開設してもらうためである。
- 問** 食品衛生管理者資格取得のための受講料は開設費用になるか。
- 答** 今後協議していく。
- 問** 支援者の協力があることは。
- 答** 食材の提供やチラシをつくるなどの協力があること。

八女市の宝
こどもたちを
笑顔に！

こども食堂を実施す

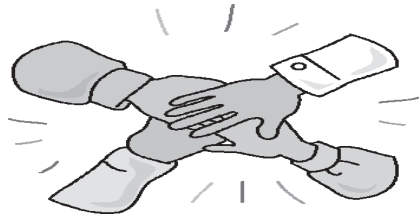
こども食堂事業費補助金 225万円

子ども食堂ってなに？
経済的、時間的理由等により、家庭的な環境の中で食事をする機会が少ない子どもたちに低価格で食事を提供する場所のこと



あたたかさ伝わるこども食堂

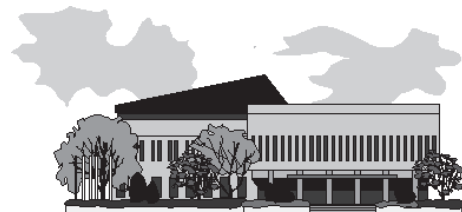
熊本地震災害義援金 1000万円



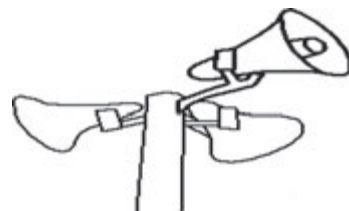
八女伝統工芸館等営繕工事費 及び修繕料218万1千円



コミュニティ助成事業助成金 250万円



庁舎消防サイレン改修工事費 261万9千円



平成28年度6月補正予算の主な内容